Sol E	有工業高	等専門学	交 開講年	度 平成30年度	(2018年度)	授	<b>美科目</b>	システム説	₽請† 2
	·····································		. posers to		/	, ,,,,,			
科目番号		0044			科目区分		専門 / 必何	 多	
	業形態 授業				単位の種別と単		学修単位: 2		
		情報コ	ース		対象学年 4				
記期 後期				週時間数		2			
			ム設計1参照 / 授						
23教員	Į	吉田晋							
到達目	 標	•							
L. シスラ	- -ムの設計 <sup>™</sup> 提案する	手法を理解しシステムのフ	っている。 プレゼンテーション デモンストレーショ	ンができる。 ョンができる					
		27() 40)							
ルーブリック		田相的+2到3	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安未到達レベルの目安				
			理想的な到達レベルの自安   システムの設計手法を理解し、応		保準的な到達レベルの自安   システム設計の手順を理解し説明		未到達レベルの目安 システム設計の手順を理解し説明		
評価項目1			用できる。	対計予法で注解し、心	できる。			できない。	100分岐で注呼し武が
評価項目2			自分で提案で ンテーション に答えられる	するシステムのプレセ ンができ、質問に適切 る。	日ルに延糸りる	自分で提案するシステムのプレゼ ンテーションができる。			するシステムのプレt ンができない。
評価項目3			ストレーショ	」たシステムのデモン ョンができ、質問に適 ることができる。	<ul><li>自分で提案した</li><li>したシステムの ョンができる。</li></ul>	自分で提案したシステ自分で提案 したシステムのデモンストレーションができる。			したシステムのデモン ションができない。
学科の	到達目標	標項目との	関係						
教育方	 法等								
既要		システ		設計手法・制作手法	 5を元にして、仮想	 したユー <sup>.</sup>	ザに製品を		とから、納入までのエ
-,,,,	· 4 + +:	ンを行	う。	. グループを構成し、 :いシステム案を選定					こ、システム提案プレt ta 構筑したシステ
W *** ~ `H							7707541		
授業の進	<u>:</u> (X)/) · /),	ー  をテモ  また、	し、教員や学生に 評価はチーム評価	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間60時間	。 行う。			DUIF (HAX)	でる。一件木びたクヘテム
		また、【授業	し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間60時間	。 行う。 】 を多く取り入れる予	· 定である	 。自学自ì		
主意点		また、【授業	し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に学自習時間60時間 案・開発などの演習	。 行う。 】 を多く取り入れる予	· 定である	 。自学自ì		
主意点		また、【授業	: し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提 げること。また、 授業内容	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に学自習時間60時間 案・開発などの演習	。 行う。 】 を多く取り入れる予	っ定である 出するこ	 。自学自ì	習の時間を有	
主意点		をデモ、【授業	: し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提 げること。また、	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に学自習時間60時間 案・開発などの演習	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定である出するこ	。自学自社 と。 )到達目標	習の時間を有	効に利用し、チーム成
注意点		をたい、「授業」グルー果を上週	: し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提 げること。また、 授業内容	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に学自習時間60時間 案・開発などの演習	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定である 出するご 週ごと0 システ/	。自学自i と。 )到達目標 <sup>1</sup> 2設計から	習の時間を有	   効に利用し、チーム成
主意点		でまして、業 でまして、業 グルー 果を上 週 1週 2週 3週	: し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提 げること。また、 授業内容	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に学自習時間60時間 案・開発などの演習	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定である 出するこ 週ごとの システム システム	。自学自i と。 O到達目標 \a設計から \a設計から \a設計から	図の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで	効に利用し、チームが 
主意点	画	でた、業 「授業」 グルー 果を上 週 1週 2週	: し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提 げること。また、 授業内容	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に学自習時間60時間 案・開発などの演習	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定である 出するこ 週ごとの システム システム	。自学自i と。 O到達目標 \a設計から \a設計から \a設計から	習の時間を有	効に利用し、チームが 
主意点		でまして、業 でまして、業 グルー 果を上 週 1週 2週 3週	: し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提 げること。また、 授業内容	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習: レポート等の提出物!	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定である 出するこ 過ごとの システム システム システム	。自学自i と。 O到達目標 A設計から A設計から A設計から A設計から	図の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで	効に利用し、チーム成 
主意点	画	でま 「グ果を グ果を 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	<ul><li>し、教員や学生に評価はチーム評価はチーム評価時間30時間+自プによる調査・提びること。また、</li><li>授業内容</li><li>システム設計</li></ul>	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習: レポート等の提出物!	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定である 出するこ 適ごとの システム システム システム フレゼン プレゼン	。自学自i と。 O到達目標 \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作	効に利用し、チーム成 
主意点	画	をま グ ボ グ 果 が 見 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提 げること。また、 授業内容 システム設計	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習: レポート等の提出物!	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定である 出するこ システム システム システム フレゼン プレゼン プレゼン	。自学自i の到達目標 A設計から Aで Aで Aで Aで Aで Aで Aで Aで Aで Aで	図の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作 びカタログ作	効に利用し、チーム成 
主意点 受業計	画	でま グ果 グ果 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	<ul><li>し、教員や学生に評価はチーム評価はチーム評価時間30時間+自プによる調査・提げること。また、</li><li>授業内容システム設計</li><li>プロポーザルクロポーザルクロ・中間発表</li></ul>	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習: レポート等の提出物!	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定である 出するこ システム システム システム フレゼン プレゼン 教員と	。自学自i シ到達目標 込設計から 込設計から 込設計から 込設計から 込設計から 込資料およ グ資料およ グ資料およる 全生による	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作 びカタログ作 びカタログ作	効に利用し、チーム成 
主意点 受業計	画	をま グル ボン ボン ボン ボン ボン ボン ボン ボン ボン ボン	し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提 げること。また、 授業内容 システム設計	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習: レポート等の提出物!	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定であることの 過ごとの システム システム システム プレゼン プレゼン 教員と	。自学自i の到達目標 A設計から A設計から A設計から A設計から 資料およ 資料およ グ資料およる ・ で ・ で で ・ で で で で で で で で で で で で で	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作 びカタログ作 ばカタログ作 ボック、工程	効に利用し、チーム成 
主意点 受業計	画	をま 「グ果 の り り り り り り り り り り り り り り り り り り	<ul><li>し、教員や学生に評価はチーム評価はチーム評価時間30時間+自プによる調査・提げること。また、</li><li>授業内容システム設計</li><li>プロポーザルクロポーザルクロ・中間発表</li></ul>	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習: レポート等の提出物!	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定であることの 過ごとの システム システム フレゼン プレゼン 教コーティ	。自学自治 公 シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作 びカタログ作 相互評価 バック、工程 バック、工程	効に利用し、チームが で で で で 下成 F成 F成 Eで理・品質管理 程管理・品質管理
主意点 受業計	画	をま 「グ果 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	<ul><li>し、教員や学生に評価はチーム評価はチーム評価時間30時間+自プによる調査・提げること。また、</li><li>授業内容システム設計</li><li>プロポーザルクロポーザルクロ・中間発表</li></ul>	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習: レポート等の提出物!	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定であることの 過ごとアルシスステル シスステア シスステア シスステア フレレゼン 教コーティ コーティ	。自学自治 公 設計から 公設計から 公設計から 公設計から 公設計から 公 資料およよ グ 資料にして、、デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ	習の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ びカタログが がカタログが 相互評価 バック、工程 バック、工程	効に利用し、チーム成 で で で で 下成 F成 E管理・品質管理 足管理・品質管理 足管理・品質管理
主意点 受業計	画 3rdQ	をま 「グ果 の り り り り り り り り り り り り り り り り り り	<ul><li>し、教員や学生に評価はチーム評価はチーム評価時間30時間+自プによる調査・提げること。また、</li><li>授業内容システム設計</li><li>プロポーザルクロポーザルクロ・中間発表</li></ul>	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習: レポート等の提出物!	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定であるこ 過ごとの シスステム シスステム プレゼン プレゼン オココーティ コーティ	。自学自i ②到達目標 ③設計から △設計から △設計から △設計から ※資料およ、 ※資料およく ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作 びカタログが 相互評価 バック、工程 バック、工程 バック、工程	効に利用し、チーム成 で で で で 下成 F成 E管理・品質管理 呈管理・品質管理 呈管理・品質管理
主意点 受業計	画	でま グル・	<ul><li>し、教員や学生に評価はチーム評価はチーム評価時間30時間+自プによる調査・提げること。また、</li><li>授業内容システム設計</li><li>プロポーザルクロポーザルクロ・中間発表</li></ul>	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習: レポート等の提出物!	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定出するこ 適ごススススレゼン シシススレゼン プリレーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	。自学自i ②到達目標 A設計からら A設計かおおよ 資料およ、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作 びカタログに エ種 バック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程	効に利用し、チーム成 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で
主意点 受業計	画 3rdQ	をま グ果 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	し、教員や学生に 評価はチーム評価 時間30時間+自 プによる調査・提 げること。また、 授業内容 システム設計 プロポーザル作 中間発表 システム構築	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 学・開発などの演習・ レポート等の提出物	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定であることの 過システム シスステム シスステム プレゼゼン 教コーーテー ココーーテー コーーテー	。自学自治学の経験をは、自学のは、自学のは、自学のは、自学のは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作 イック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程	効に利用し、チーム成 で で で で 下成 F成 E管理・品質管理 呈管理・品質管理 呈管理・品質管理
主意点 受業計	画 3rdQ	をま グ果 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週	<ul><li>し、教員や学生に評価はチーム評価はチーム評価時間30時間+自プによる調査・提げること。また、</li><li>授業内容システム設計</li><li>プロポーザルクロポーザルクロ・中間発表</li></ul>	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 学・開発などの演習・ レポート等の提出物	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定であることの 過システム シスステム シスステム プレゼゼン 教コーーテー ココーーテー コーーテー	。自学自i ②到達目標 A設計からら A設計かおおよ 資料およ、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作 イック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程	効に利用し、チーム成 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で
主意点 受 <b>業</b> 計	画 3rdQ 4thQ	でま   グ果 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 113週 113週 115週 116週 116週 116週 116週 116週 116週 116	し、教員や学生に 評価はチーム 神間30時間+自 プによる調査 がること。 また、 授業内容 システム設計 プロポーザル作 中間発表 システム構築 デモンストレー	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 学ま・開発などの演習: レポート等の提出物	。 行う。 】 を多く取り入れる予	定であることの 過システム シスステム シスステム プレゼゼン 教コーーテー ココーーテー コーーテー	。自学自治学の経験をは、自学のは、自学のは、自学のは、自学のは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計まで びカタログ作 びカタログ作 イック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程 バック、工程	効に利用し、チーム成 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で
主意点 受業計	画 3rdQ 4thQ	をま 「グ果 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週 13週 14週 15週 15週 15週 17月 17月 18月 18月 18月 18月 18月 18月 18月 18	し、教員や学生に 評価はチーム 神間30時間+自 プによる調査 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間   	行う。 を多く取り入れる予 は期限を守り必ず提	定であることの 過システム シスステム シスステム プレゼゼン 教コーーテー ココーーテー コーーテー	。自学自治学の経験をは、自学のは、自学のは、自学のは、自学のは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計ままで びびカカタロロ 相がカクタロの 相がカクタロの 相がカクタロの は がカクタアで は がかかか は は が が が が が が が が が が が が が が	効に利用し、チーム成 ででできます。 ででできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、
主意 受業計 期 デル	画 3rdQ 4thQ	でま   グ果 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 113週 113週 115週 116週 116週 116週 116週 116週 116週 116	し、教員や学生に 評価はチーム 評価は 3 0 時間 + 自 プによる調査 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間   	行う。 を多く取り入れる予 は期限を守り必ず提	定であることの 過システム シスステム シスステム プレゼゼン 教コーーテー ココーーテー コーーテー	。自学自治学の経験をは、自学のは、自学のは、自学のは、自学のは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計ままで びびカカタロロ 相がカクタロの 相がカクタロの 相がカクタロの は がカクタアで は がかかか は は が が が が が が が が が が が が が が	効に利用し、チーム成 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で
主意 受業計 期 デル	画 3rdQ 4thQ	でま「グ果 週週 3週 30週 30	し、教員や学生に 評価はチーム計画 けるの時間 + 日 プによる。また、 授業内容 システム設計 プロポーザル作 中間発表 システム構築 デモンストレー の学習内容 学習内容	よる相互評価を行う。を加味して個人毎に学自習時間60時間 学自習時間60時間 学・開発などの演習・レポート等の提出物の は、「学習内容の到達に関するののでは、「学習内容のののでは、」	(行う。)    を多く取り入れる予は期限を守り必ず提	定であることの 過システム シスステム シスステム プレゼゼン 教コーーテー ココーーテー コーーテー	。自学自治学の経験をは、自学のは、自学のは、自学のは、自学のは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計ままで びびカカタロロ 相がカクタロの 相がカクタロの 相がカクタロの は がカクタアで は がかかか は は が が が が が が が が が が が が が が	効に利用し、チームが ででできます。 下成 下成 全管理・品質管理 会管理・品質管理 会管理・品質管理 会管理・品質管理 会管理・品質管理 会管理・品質管理 会管理・品質管理 会管理・品質管理
注意会と対しています。	画 3rdQ 4thQ コアカリ	でま グアと グアと グアと グアと の の の の の の の の の の の の の	し、教員・生に 一位は子 - 上の 一切による。また、 一切による。また、 一切である。 一切である。 一でな。 一でな。 一でな。 一でである。 一でである。 一でである。 一ででな。 一でである。 一でである。 一ででな。 一でである。 一ででな	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間   	行う。 を多く取り入れる予 は期限を守り必ず提	定出	。自学自治学の経験をは、自学のは、自学のは、自学のは、自学のは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、自動をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	望の時間を有 詳細設計まで 詳細設計まで 詳細設計ままで ががかカタロログの 相互ックク、、工工程 パバックク、、工工程 イバックク、、工工程 イバックク、、工工程 イバックク、、工工程 インクターの インクーの インション イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	効に利用し、チーム成 ででできます。 ででできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 できます。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、
主意会と対する対象を対しています。	画 3rdQ 4thQ コアカリ	をま 「グ果 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 ブ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	し、教員・Linux を	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習。 レポート等の提出物 ・ション 到達目標 学習内容の到達 相互評価 0	(行う。)   を多く取り入れる予は期限を守り必ず提   調標	定出 週 シシスススレビゼン 教 ココココココカ	。と。	図の時間を有 詳細設計ますで 詳細設計ままでで がが相バババババババがが 相がカカタ評クへ、、、、 では、ボババババババババババババババババババババババババババババババババババババ	効に利用し、チーム成 で で で で で で で で で で で で で
注意会と対している。  注意は、 を表する。  注意は、 を表する。  を表するる。  を表するる。  を表する。  を表する。  を表するる。  を表するる。 を表するる。 を表するる。  を表するる。  を表するる。  を表するる。  を表するる。  を表するるる。  を表するる。  を表するる。  を表するる。  をまするるる。  をまするる。  をまするる。  をまするる。 をまするる。 をまするる。 をまするる。  をまするる。 をまするる。 をまるるる。 をまるるる。 をまるる	画 3rdQ 4thQ コアカリ	をま 「グ果 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 13週 14週 15週 16週 ノキュ 分野 試験 00 0	し、教員や上に 一位はチームに 一切によるの時間 + 提 である。また、 一切である。 一切である。 一でなる。 一でなる。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。 一でな。	よる相互評価を行う。 を加く を加く を加く を加く を加く を加く を加く を加く	だう。 を多く取り入れる予は期限を守り必ず提 は期限を守り必ず提 を し し し し し し し し し し し し し し し し し し	定出	。と。	望の時間を有 詳細設計ますで 詳細設計ますで がびが相バババババババババババババババババババババババババババババババババババ	効に利用し、チーム成 で で で で で で で で で で で で で
授 注 授 後 モ分評 総基専分	画 3rdQ 4thQ コアカリ 合 割合 动力	をま 「グ果 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 ブ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	し、教員・Linux を	よる相互評価を行う。 を加味して個人毎に 学自習時間 6 0 時間 実・開発などの演習。 レポート等の提出物 ・ション 到達目標 学習内容の到達 相互評価 0	(行う。)   を多く取り入れる予は期限を守り必ず提   調標	定出 週 シシスススレビゼン 教 ココココココカ	。と。	図の時間を有 詳細設計ますで 詳細設計ままでで がが相バババババババがが 相がカカタ評クへ、、、、 では、ボババババババババババババババババババババババババババババババババババババ	効に利用し、チーム成 で で で で で で で で で で で で で